

(別 掲)

年 月 日

公益財団法人 報 農 会
理事長

殿

本 籍

現住所(寄宿先)

本 人 氏 名

㊟

年 月 日生

保証人 氏 名

㊟

現住所

続 柄

年 月 日生

育 英 費 受 給 願

私儀、 年 月〇〇〇大学大学院 課程に在学致しております。つきましては貴会
育英規程に従い育英費の給与を受けたく、別紙関係書類相添え保証人連署しお願い申し上
げます。

(別掲：継続申請の場合例)

年 月 日

公益財団法人 報 農 会
理事長 殿

本 籍
現住所(寄宿先)
本 人 氏 名 ㊦
年 月 日生

保証人 氏 名 ㊦
現住所
続 柄
年 月 日生

育 英 費 受 給 願(継続)

私儀 △△年 △月○○○大学大学院 ○○課程に在学致しております。

△△年度における貴会の奨学生に採択され現在に至っておりますが、□□ 年度(○○
課程 年)におきましても継続して育英費の給与を頂きたく、保証人連署しお願い申し上げます。

(別 掲)

年 月 日

公益財団法人 報 農 会
理事長

殿

〇〇大学〇〇学部
学部長

㊟

推 薦 書

下記の者は本学大学院 課程に在学し、貴会育英規程第 2 条の適格者と認めましたので、別紙のとおり同規程所定の書類を添え、推薦致します。

記

1. 氏 名
2. 生年月日
3. 本 籍
4. 現 住 所

(別掲:継続申請の場合例)

副 申 書

は〇〇大学大学院農学生命科学研究科 専攻博士課程に在学し、
現在私が担当する 研究室に在籍しております。同君は、博士課程 年の
△△年度において貴会より育英費の給与を受けておりましたが、博士課程 年の□□年
度におきましても引き続き育英費の給与を賜りたく、ここに副申致します。

なお、同君は、現在 の研究を精力的に行っており、堅実に成果を挙げつ
つあります。すなわち、貴会より育英費を受ける学生としてふさわしい活動を行っている
ことを申し添えます。

年 月 日

公益財団法人 報 農 会

理事長 殿

〇〇大学大学院農学生命科学研究科

教授

㊟

育英費受給申請要領

受給申請の要領

報農会育英規程に基づきA4判用紙に横書きで、下記事項を参照の上適宜作成する。

1. 育英費受給願、希望書、人物所見書、推薦書等は手書又はワープロ印書とする。
2. 審査の際、要件として受給学生の経済事情を考慮に入れているので人物所見書の中に参考となることを明記する。
3. 写真は4cm×4cm半身像を希望書に添付する。
4. 受給者の申請は、各大学とも1名に限定する。
5. 受給願並びに関係書類の提出期限は4月末日となっているが、なるべく進学確定後早々に提出する。
6. 受給者の決定は理事会で選考し、受給確定者には育英費を4月分から支給する。
なお、合・不合格の決定は6月中旬までに在籍学部長又は指導教官宛に通知する。
7. 長期に亘って正規に授業が行われない場合には、指導教官は事情を連絡する。

育英費受給者心得

受給者心得

育英費を受けられた方は下記事項を必ず履行されたい。

1. 育英規程第7条に基づき、3月15日までにA4判用紙1～2頁の研究成績概要を指導教官等の閲覧を受けて提出されたい。
2. 引続き次年度も育英費の受給を希望される方は、指導教官等の副申書を添え、なるべく早く育英費継続受給願を提出されたい。

(お願い)

1. 本会では、育英予算を補強して、より多くの学生に援助したいと考えているので、将来生活に余裕が出来た場合には、本会の趣旨に賛同され、本会の基金にご寄附いただければ幸いです。
2. 就職が決定した方は、勤務先並びに現住所等を早急に報告して下さい。異動があった場合も同じです。